

6 / 15 市民フォーラム

東北に新しい日本を ～人間復興のコミュニティをめざして



2011年3月11日、あの日、あの時から丸2年を経過し、3年目に入る。

遅々として進まない再生・復興の取り組み。廃炉への目処も全くたらず、放射線も汚染水もたれ流し続ける恐怖の福島原発。避難を余儀なくされた人々の帰郷の展望はなく、これらの現実には被災地の人にとどまらず、日本社会全体を不安と恐怖の中に置き続けている。あの震災・津波の破壊、原発の破綻に直面して、ほとんどの人は自らの生活も、地域も、社会全体も変わらなければならない、変えなければならないと強い衝動にかられた。それは経済成長優先の市場至上経済への拒否感であり、日本社会の持続可能なコミュニティの再生ではなかったか。つまり、被災地の人々の心と生活・地域の真の復興とはどうあるべきなのか、それにとどまらず日本社会全体の再創造、復興とはどういうことか、それは可能か…と。

「日に復する」ことなどあり得ない東北の本当の「復興」とは何か一とりわけ福島では何が起きているのか、対立と分断を超える和解の途をどこに見出すのか。そして、新しい社会を創り出す力は地域からどのように生まれているのか。このフォーラムを通して、日本社会全体の再生のテーマとして、私たち市民が自らにひきつけて問い、東北の現実から学び、地域に協同・連帯を築く実践の方向を見出す場にしていきたい。皆さんの参加を呼びかけます。

記念鼎談「東北に新しい日本を」



赤坂憲雄さん

学習院大学教授、福島県立博物館館長

東京都出身。専門は東北文化論と日本思想史。「東北学」を掲げて、地域学の可能性を問いかけてきたが、最近では、あらたな近代思想史へのアプローチの道を探りはじめている。主な著書：『東西／南北考』（岩波新書）、『東北学／忘れられた東北』（講談社学術文庫）、『3・11 から考える この国のかたち』（新潮選書）他多数。



山内明美さん

大正大学特命准教授

宮城県出身。一橋大学大学院言語社会研究科博士課程在籍。専門は歴史社会学、近代《東北》研究。とりわけ、東北地方における稲作とナショナリズムの相関関係をテーマに研究してきた。著作：『こども東北学』（イースト・プレス）、赤坂憲雄氏、小熊英二氏との共著『「東北」再生』（イースト・プレス）、『「辺境」からはじまる 東京／東北論』（明石書店）など。



永戸祐三さん

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ) 連合会理事長

京都府出身。ワーカーズコープ・協同労働の協同組合運動を牽引して30数年。「協同労働を社会的力に」を掲げ、「協同労働の協同組合」の法制化をめざして活動を進めている。

日時

2013年6月15日(土)
12:30 ~ 16:00

会場

仙台国際センター大ホール (裏面地図参照)
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
TEL 022-265-2211 FAX 022-265-2485

プログラム

12:30 ~ 13:00
オープニング：チーム息吹
「現代版組踊 福島は負けない！」
13:00 ~ 13:10
主催者挨拶
13:10 ~ 13:20
来賓挨拶
13:20 ~ 14:50
記念鼎談「東北に新しい日本を」
15:00 ~ 16:00
パネルディスカッション
(東北発！協同労働の実践から)
「我がまちの本当の未来を私たち市民
が切り拓く一創り出そう！地域から
仕事を、子どもたちの夢と希望をー」

問合せ：労協センター事業団(ワーカーズコープ) 東北事業本部 担当) 佐々木、前田

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 4-7-17 小田急仙台ビル 608号 TEL 022-398-4975 FAX 022-398-4973 E-mail thkb@roukyou.gr.jp

■ 東北被災地における労働者協同組合（ワーカーズコープ）の活動

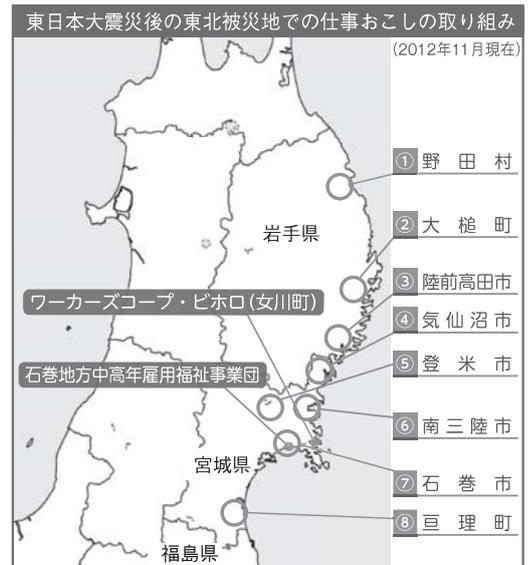
労働者協同組合（ワーカーズコープ）は、仕事を求める人々や地域課題の解決を願う人々が、雇われるのではなく自らの手で出資し合い、力を合わせて仕事をおこし、まちづくりに貢献することをめざす、「協同労働の協同組合」です。

失業や貧困・社会的排除に対し、「働きたい」と願う誰もが安心して働ける社会「完全就労社会」の実現、そして地域の人のつながりや役割をつくりだす「新しい福祉社会」の創造をめざして、地域福祉や介護、子育て、公共施設の管理運営などの事業を中心に、最近では社会的困難にある人々の自立・就労創出の事業活動を進めています（就労者数 1 万 2,765 人、事業高 304 億 3,848 万円、2012 年 3 月現在）。

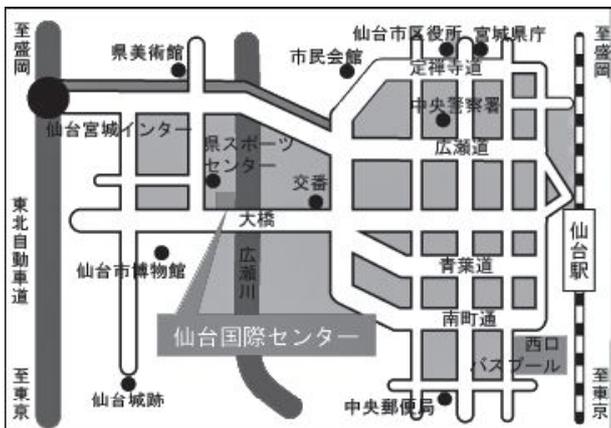
2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災と原発破綻は、人間にとって本当の豊かさとは何か、大切な価値とは何かを私たちに突きつけました。そして、経済成長優先の日本社会のあり方を根本から見直し、被災地にこそ自然の恵みと人の絆の豊かさを感じられる新しい社会を働く者、市民の手で築いていきたいと願い、「東北に新しい日本を」を掲げ、一昨年 7 月に仙台に東北復興本部を設置しました。現在、被災 3 県の沿岸部を中心に、被災地の人々がわがまちの再生のために力を合わせ、必要な仕事を協同でおこし、ともに働く道を切り拓く取り組みを進めています。

「自然と向き合い、生きる誇りを孫の世代に」「諦めずに挑戦する文化を子どもたちに伝えたい」「都会ではなく、ここで暮らしたいと思えるふるさとを残したい」…そんな次世代に希望をつなぐ仕事と暮らしと地域を、自らの手でつくろうと立ち上がる人々と出会ってきました。そして、大槌・陸前高田・気仙沼・南三陸・登米・女川・石巻・巨理に仕事おこしの拠点ができ、格闘が始まっています。また、取り組みを進める中で立ちはだかる国の政策や行政の壁、地域の分断の現実にもぶつかり、ここを超えるための一層深い地域の協同・連帯の取り組みの必要を感じています。

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会第 34 回定期総会、労協センター事業団第 28 回定期総代会を仙台の地で開催するにあたり、今回、市民フォーラムを企画しました。ぜひ、ご参加ください。



■ フォーラム会場地図



◎路線バス：所要約 10 分

乗車：仙台駅前の西口バスプール 9 番乗場。路線名：「宮教大・青葉台」、「宮教大」、「宮教大・成田山」、「青葉道、理・工学部 経由青葉城址循環」、降車：博物館・国際センター前（徒歩 1 分）

◎タクシー：仙台駅より約 7 分

参加申込書 FAX：022-398-4973 事務局宛にお送りください

フリガナ			
お名前		男・女	ご所属 企業名 団体名 学校名 他
ご住所	〒	TEL：	— —